

## 神崎市地域経済動向調査(4月号)

### ■全国の景況

#### ◇月例経済報告(R2.3月号より)

『景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある』

- ・個人消費は、感染症の影響により、このところ弱い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、引き続き弱含んでいる。
- ・企業収益は、製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は、感染症の影響により悪化している。
- ・雇用情勢は、改善してきたが、感染症の影響がみられる。
- ・消費者物価は、このところ横ばいとなっている。
- ・先行きについては、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

#### ◇中小企業景況調査(2020年1~3月期より)

『中小企業の業況判断DIは、5期連続で低下した』

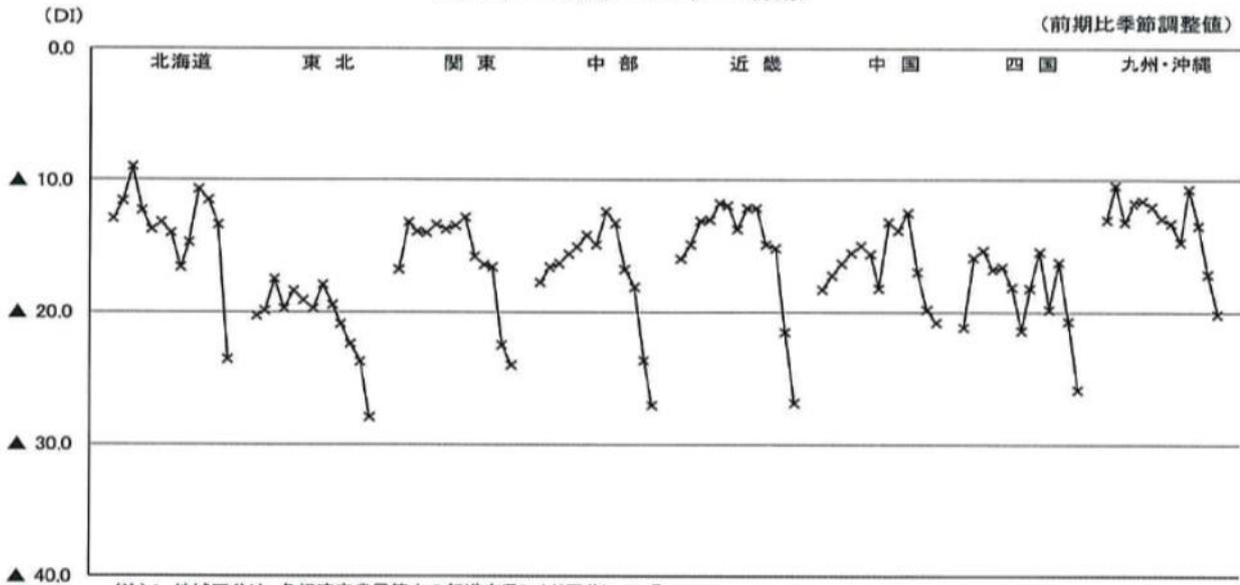
<中小企業の業況判断(2020年1~3月期)>



- ・2020年1~3月期の全産業業況判断DI値は、▲24.4(前期より3.3ポイント減)で、5期連続で低下した。
- ・業種毎には、小売業でポイント増加、製造業、建設業、卸売業、サービス業でポイント減少となっている。
- ・なお、この景況調査は、主に2月期に行われており、まだ新型コロナウイルスの影響はあまりみられていない段階での判断である。本レポートを作成している4月上旬においては、新型コロナウイルスの影響が大きく、かなり厳しいものとなっている。

<地域別業況判断(2020年1~3月期)>

中小企業の地域別業況判断DIの推移(全産業)  
(2017年1-3月期~2020年1-3月期)



(注)1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。

2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

- ・地域別の業況判断では、九州・沖縄をはじめ、全ての地域でマイナス幅が拡大している。

## ■佐賀県の景況

### ◇佐賀県内経済情勢報告 (R2.1 より)

#### 『県内経済は、回復しつつある』

- ・個人消費は、緩やかに回復しつつある。
- ・生産活動は、回復しつつある。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・設備投資は、令和元年度は前年度を上回る見込みとなっている。
- ・企業収益は、令和元年度は減益見込みとなっている。
- ・住宅建設は、前年を上回っている。

### ◇佐賀県主要経済統計速報 (R2.3 より)

佐賀県主要経済統計速報3月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。  
佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(1月)は、全店販売額が4ヵ月連続で下回った。  
乗用車新規登録台数(2月)は、4ヵ月連続で下回った。  
新設住宅着工戸数(1月)は、3ヵ月連続で下回った。  
公共工事前払保証請負金額(2月)は、2ヵ月連続で上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(1月)は、4ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(1月)は、5ヵ月連続で下回った。
- ・企業倒産(2月)の件数は2件減で、金額は2ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(2月)は、3ヵ月振りに上回った。

#### <佐賀県内の参考指数>

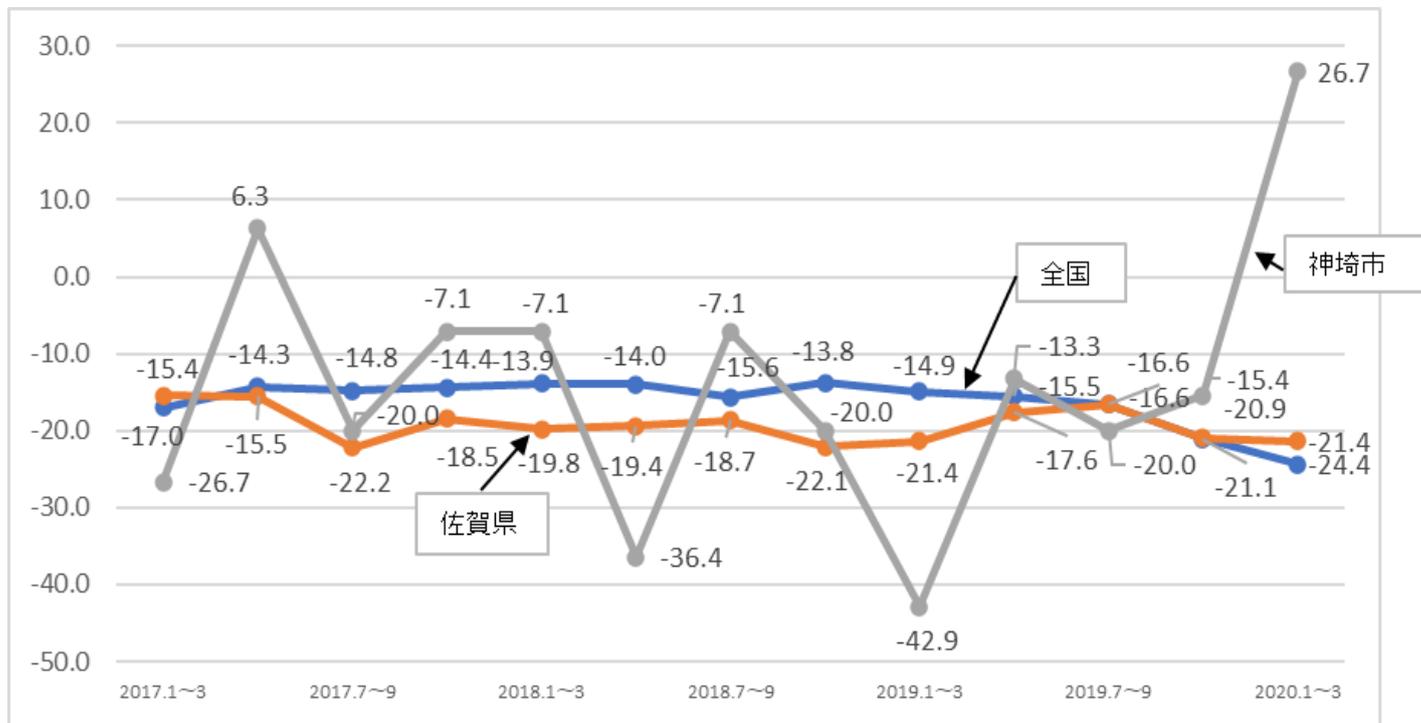
項 目		対象月	数 値	対前年同月比・ 増 減	前月比・増減分		
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	全店販売額	1月	49億9百万円	△2.3%	△22.3%
			既存店販売額	1月	—	1.2%	—
	住宅建設	乗用車新規登録台数	2月	2,541台	△13.9%	11.1%	
			新設住宅着工戸数	1月	297戸	△22.7%	△17.7%
				公共工事	2月	40億74百万円	5.6%
生産	鉱工業生産指数(注)	1月	105.1	△2.6%	10.4%		
雇用	所定外労働時間数指数(事業所規模30人以上)		12月	107.6	△16.3%	—	
	有効求人倍率・受理地別(季節調整済)		1月	1.22倍	△0.10	△0.06	
	有効求人倍率・就業地別(〃)		1月	1.44倍	△0.15	△0.10	
企業倒産	企業倒産状況(累計は年間ベース)(注)	倒産件数(当月)	2月	2件	△2件	△2件	
		〃(累計)	2月	6件	1件	—	
		負債金額(当月)	2月	5億48百万円	2億74百万円	△6億10百万円	
		〃(累計)	2月	17億6百万円	14億20百万円	—	
物価金融	消費者物価指数(佐賀市)	1月	102.6	0.6%	△0.1%		
金融	金融機関(銀行)の貸出金残高	2月	1兆3,324億円	0.3%	0.4%		
人口	推計人口		2月	813,170人	△4,929人	△420人	
	推計世帯数		2月	313,810世帯	2,945世帯	68世帯	
景気動向指数	先行指数		12月	25.0%	—	—	
	一致指数			42.9%	—	—	
	遅行指数			33.3%	—	—	

## ■神埼市の景況

### 『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

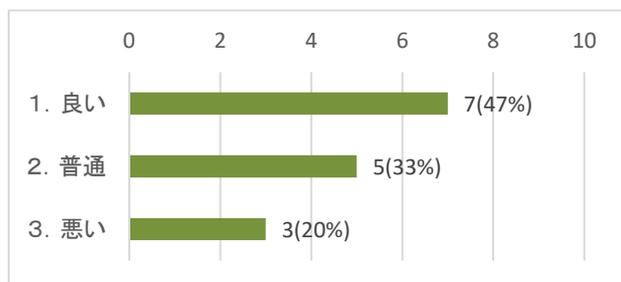
#### ◇中小企業景況調査(2020年1～3月期より)

中小企業景況調査より、2017年1～3月期から2020年1月～3月の業況判断状況は以下のとおりである。

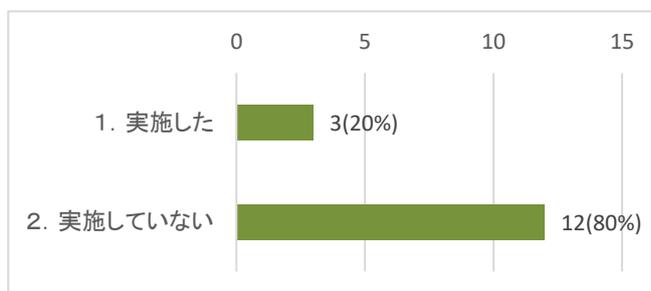


- ・2020年1～3月期の佐賀県の全産業の業況判断DIは、▲21.4(前期差0.5ポイント減)で、減少となっている。
- ・全国DI値は▲24.4で佐賀県DI値より低い値となっている。
- ・神埼市は、15社分の集計結果であり参考値としてみていただきたいが、DIは26.7で、全国値、佐賀県値より高い値となっている。調査を行った2月時点では、新型コロナウイルスの影響はあまりみられず、景況は比較的好調であるとの判断であったと思われる。しかし、本レポートを作成している4月上旬現在では、新型コロナウイルスの影響が顕著であり、政府の緊急経済対策が講じられるなど、今後の経済見通しはかなり厳しいものとなっている。
- ・神埼市15社分の現在の景況感、設備投資状況は以下のとおりである。

<現在の景況感>



<設備投資 今季 2020年1月～3月>



<経営上の課題>

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	従業員の確保難	民間需要の停滞	官公需要の停滞
	神崎市商工会	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	材料価格の上昇
製造業	全国	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化への対応
	神崎市商工会	需要の停滞	製品ニーズの変化への対応	原材料価格の上昇
小売業	全国	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	大・中型店の進出による競争の激化
	神崎市商工会	購買力の他地域への流出	店舗の狭隘・老朽化	人件費以外の経費の増加
サービス業	全国	需要の停滞	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	神崎市商工会	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	人件費の増加

- ・ 中小企業景況調査で、全国で約 8,000 件、神崎市商工会では 15 件が対象となっている。
- ・ 神崎市商工会地区でみると、建設業、サービス業は「従業員の確保難」、製造業は「需要の停滞」、小売業は、「購買力の他地域への流出」が最重要課題となっている。

◇保証月報 (佐賀県信用保証協会より)

神崎市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	2019.2				2020.2			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神崎市	4	56,000	331	2,395,339	4	43,000	326	2,363,329
佐賀県	186	1,774,410	10,043	76,200,550	189	1,814,880	9,729	73,961,090

- ・ 2020 年 2 月の神崎市内中小企業の保証承諾件数は 4 件で、金額は 43,000 千円で、前年同月比では件数は同数で、金額は減少となっている。
- ・ 保証債務残高は、佐賀県全体、神崎市とも、件数、金額ベースとも減少となっている。